



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月1日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	40,225	4.8	263		34		3	
2021年3月期第2四半期	38,379	12.7	474		177		100	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 131百万円 (764.7%) 2021年3月期第2四半期 15百万円 (96.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	0.05	
2021年3月期第2四半期	1.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	75,202	37,695	49.8
2021年3月期	76,817	38,087	49.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 37,422百万円 2021年3月期 37,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		8.00	8.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	3.6	1,250	21.6	1,550	23.5	1,000	27.9	16.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	66,829,249 株	2021年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	5,642,284 株	2021年3月期	5,642,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	61,187,046 株	2021年3月期2Q	61,187,535 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染防止に向けたワクチン接種が進んだものの、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施により、経済活動や個人消費の動きは鈍く、厳しい状況が続きました。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、新設住宅着工戸数は徐々に回復の兆しがみられるものの、コロナ禍で商業・宿泊施設等の需要が低迷し、先行き不透明な状況が続いております。また、原油・ナフサ価格の上昇に伴う主要原材料価格の高騰が影響し、収益面においても非常に厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画『SHINKA Plus ONE』を本年4月より展開しております。長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けて、A. コア事業の強靱化、B. 伸びしろ事業の成長拡大、C. 第5事業の創造、D. グループ横断機能の強化、E. 成長を支える経営基盤の構築、の5つの重点戦略を推進しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高40,225百万円（前年同期比4.8%増）、営業損失263百万円（前年同期 営業損失474百万円）、経常損失34百万円（前年同期 経常損失177百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円（前年同期 同四半期純損失100百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。詳細については、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）をご参照ください。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

#### <プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、コロナ禍での新たな生活様式に応じた販促活動にも注力し、ビニル系床材やカーペットを中心に主力製品群で売上高を伸ばしました。

ビニル系床材では、医療・福祉や教育施設向け需要が低調に推移したことで汎用価格帯のビニル床シートは伸び悩みましたが、オフィスリニューアル需要の回復により、置き敷きビニル床タイル「ルースレイタイルLLフリー50NW-EX」が伸長するなど、全体の売上高は前年同期を上回りました。

カーペットでは、2020年9月に改廃を実施したタイルカーペット「GA-100シリーズ」及び「GA3600」がオフィスリニューアル市場に浸透したことで大きく伸長しました。また、巣ごもり需要に対応した住宅用タイルカーペットが引き続き堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

壁装材では、主力の見本帳であるビニル壁紙「VS」は伸長しましたが、「パワー1000」が低調に推移したことで、売上高は前年同期を下回りました。

カーテンでは、総合見本帳「フフル」は好調に推移しましたが、学校・病院向けを主体とする「コントラクトカーテン」が低調であり、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は23,919百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

利益面では、塩ビ樹脂やナイロン原糸等の主要原材料価格高騰による収益悪化要因に対して、生産効率の向上や間接経費の縮減に努めてまいりました。また、7月より製品価格の一部改定を進めてまいりましたが、上代改定を含む本格的な価格改定は10月下旬からの実施であり、当期間における改定効果は一定程度にとどまっております。これらの結果、セグメント損失は19百万円（前年同期 セグメント損失8百万円）となりました。

#### <インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸及び工事事業では、コロナ禍からの回復途上の中、主にオフィス向けの需要が堅調であったことから売上高は前年を上回りました。また、東璃（上海）貿易有限公司は、中国国内における経済活動の回復に伴い増収増益となりました。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は26,712百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は162百万円（前年同期比606.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

## &lt;資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,625百万円減少し、43,169百万円となりました。これは主に、売上債権の回収等に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,010百万円増加し、32,033百万円となりました。これは主に、製造子会社の設備投資に伴う建設仮勘定の増加によるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,615百万円減少し、75,202百万円となりました。

## &lt;負債&gt;

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,995百万円減少し、25,574百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払い等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ772百万円増加し、11,932百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,222百万円減少し、37,507百万円となりました。

## &lt;純資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ392百万円減少し、37,695百万円となりました。これは主に、配当金の支払等により利益剰余金が減少したためです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ900百万円増加し、11,169百万円（前第2四半期連結累計期間8,988百万円）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,050百万円の収入（前年同期1,577百万円の収入）となりました。仕入債務の減少額の減少等により、前年同期に比べ収入が増加しております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,471百万円の支出（前年同期1,981百万円の支出）となりました。前年同期は合弁会社『江蘇長隆裝飾材料科技有限公司』への出資金の払込による支出があったため、前年同期に比べ支出が減少しております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、692百万円の支出（前年同期748百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月28日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,361	11,264
受取手形及び売掛金	18,978	14,715
電子記録債権	5,535	4,874
商品及び製品	7,260	7,884
仕掛品	1,260	1,379
原材料及び貯蔵品	1,576	1,914
その他	877	1,172
貸倒引当金	△56	△37
流動資産合計	45,794	43,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,703	6,750
機械装置及び運搬具(純額)	3,021	3,355
工具、器具及び備品(純額)	369	362
土地	9,012	8,951
建設仮勘定	1,880	2,605
その他(純額)	70	59
有形固定資産合計	21,056	22,083
無形固定資産		
ソフトウェア	1,145	989
その他	139	142
無形固定資産合計	1,284	1,131
投資その他の資産		
投資有価証券	4,872	4,884
繰延税金資産	879	959
その他	3,191	3,233
貸倒引当金	△262	△258
投資その他の資産合計	8,681	8,817
固定資産合計	31,022	32,033
資産合計	76,817	75,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,490	14,445
電子記録債務	5,295	4,970
短期借入金	1,625	1,020
未払法人税等	201	248
未払費用	1,590	1,445
賞与引当金	666	664
その他	2,701	2,781
流動負債合計	27,570	25,574
固定負債		
長期借入金	5,000	5,630
退職給付に係る負債	3,847	3,928
その他	2,312	2,374
固定負債合計	11,159	11,932
負債合計	38,730	37,507
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	24,033	23,508
自己株式	△1,271	△1,271
株主資本合計	36,043	35,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,731	1,767
為替換算調整勘定	33	118
退職給付に係る調整累計額	17	19
その他の包括利益累計額合計	1,782	1,904
非支配株主持分	261	272
純資産合計	38,087	37,695
負債純資産合計	76,817	75,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	38,379	40,225
売上原価	27,624	29,195
売上総利益	10,755	11,029
販売費及び一般管理費	11,229	11,292
営業損失(△)	△474	△263
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	90	85
仕入割引	37	37
保険配当金	45	40
助成金収入	164	20
その他	69	136
営業外収益合計	409	321
営業外費用		
支払利息	32	30
持分法による投資損失	—	36
その他	79	26
営業外費用合計	111	93
経常損失(△)	△177	△34
特別利益		
固定資産売却益	—	81
投資有価証券売却益	77	48
特別利益合計	77	129
特別損失		
固定資産除却損	11	9
投資有価証券評価損	7	2
特別損失合計	18	12
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△118	83
法人税、住民税及び事業税	61	156
法人税等調整額	△78	△82
法人税等合計	△17	74
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100	8
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	12
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100	△3

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115	35
為替換算調整勘定	△5	84
退職給付に係る調整額	6	1
その他の包括利益合計	115	122
四半期包括利益	15	131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15	119
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	11

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△118	83
減価償却費	925	990
固定資産除却損	11	9
固定資産売却損益(△は益)	—	△81
投資有価証券売却損益(△は益)	△77	△48
投資有価証券評価損益(△は益)	7	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	53	△22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	85	82
受取利息及び受取配当金	△91	△87
助成金収入	△164	△20
支払利息	32	30
売上債権の増減額(△は増加)	7,670	4,927
棚卸資産の増減額(△は増加)	△170	△1,078
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,360	△1,377
その他	△762	△326
小計	2,040	3,085
利息及び配当金の受取額	91	87
助成金の受取額	164	20
利息の支払額	△32	△30
法人税等の支払額	△687	△111
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,577	3,050
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,045	△1,633
有形固定資産の売却による収入	—	135
無形固定資産の取得による支出	△154	△63
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	159	91
関係会社出資金の払込による支出	△967	—
貸付けによる支出	△6	△6
貸付金の回収による収入	7	6
その他	29	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,981	△1,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,200	1,430
長期借入金の返済による支出	△1,200	△1,405
配当金の支払額	△489	△489
その他	△258	△228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△748	△692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,166	900
現金及び現金同等物の期首残高	10,155	10,268
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,988	11,169

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は280百万円、売上原価は137百万円、販売費及び一般管理費は91百万円それぞれ減少したことにより、営業損失は51百万円増加しました。一方、営業外費用が61百万円減少したことに伴い、経常損失は10百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は10百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は32百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。この適用に伴い、その他有価証券のうち時価のあるものの評価方法について、主として四半期連結会計期間末日前1ヶ月の市場平均価格等の平均に基づく時価法から、主として四半期連結会計期間末日の市場価格等に基づく時価法へ変更しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の投資有価証券が14百万円、その他有価証券評価差額金が10百万円それぞれ増加し、繰延税金資産が4百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,387	24,992	38,379	—	38,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,834	187	10,022	△10,022	—
計	23,221	25,179	48,401	△10,022	38,379
セグメント利益又は損失(△)	△8	23	14	△191	△177

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△191百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,618	26,606	40,225	—	40,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,300	106	10,407	△10,407	—
計	23,919	26,712	50,632	△10,407	40,225
セグメント利益又は損失(△)	△19	162	143	△177	△34

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△177百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。